

平成26年度全国中国少年少女県予選及び中学校選手権大会 競技規定

作成日;2014年2月6日

山口県空手道連盟 審判委員会

I. 道着について

- ① 空手着には道場名および山口県スポーツ少年団のワッペンだけは表示してもよい。
- ② 全国大会のワッペンや日の丸は表示してはならない。
- ③ マイ帯の着用を認める。

II. 形競技

1 個人戦 共通事項

- ① 演武は、予選・決勝とも2名で行う。
- ② 演武開始は、笛の合図で行う。
- ③ 審判員は予選・決勝とも5名編成とする。
- ④ 3位決定戦を行う。 3位決定戦は自由形とする。それまで演武した形も選択できる。

2 小学生 個人戦

- ① **1, 2回戦は**
(制定形)ゲキサイ第1・第2、平安、又はピンアン初段～5段の中から選択することとし、同じ形を繰り返し演武する事ができる。
- ② **3回戦以降は**
全空連第1指定形、第2指定形、又は1, 2回戦でまだ演武していない形から選択することとし、同じ形を繰り返し演武する事が出来る。
但し、選手が4名以下の場合には1回戦のみ制定形とする。

3 中学生 個人戦

- ① 1, 2回戦は全空連第1指定形とし、繰り返してもよいものとする。
- ② 3, 4回戦は全空連第2指定形とし、繰り返してもよいものとする。
- ③ 5回戦以降は自由形とし、繰り返してもよいものとする。ただし、1～4回戦で用いた形は使用できない。

4 団体戦(中学生のみ)

- ① 形の指定は、個人戦と同様とする。
- ② 演武は、予選・決勝とも1チームで行う。
- ③ 演武開始は、各チームで自主的に行う。
- ④ 審判員は予選・決勝とも5名編成とする。

III. 組手競技

1 共通事項

- ① 安全具;JKF公認のメンホー、拳サポーター、胴プロテクター、セーフティカップを着用。(セーフティカップは、小学生3年生以上、義務つけとする。未着用の選手は失格)(拳サポーターについて;小学生は赤・青あるいは赤・青リバーシブルの拳サポーター、中学生は赤・青の拳サポーターを義務つける)
シンガード・インステップガードの着用は自由とする。
- ② テンカウントルールは採用しない。
- ③ 頭部・顔面・頸部への手技のスキンタッチは認めない。但し、上段蹴りはスキンタッチの場合、得点となる。
- ④ 3位決定戦を行う。

2 個人戦(小学生;中学生 共通)

- ① **勝敗は6ポイント差とする。**
- ② 競技時間は1分30秒フルタイムとする。

3 団体戦(中学生のみ)

- ① 1チーム3名、集合時2名も認める。
- ② 勝敗が決まった時点で終了とする。
- ③ 勝敗;競技時間は個人戦と同じ。

以上